



La 102-a Japana Esperanto-Kongreso  
en Sendai

La 10-a, 11-a, 12-a de oktobro 2015

第 102 回

日本エスペラント大会  
(仙 台 市)

日 時: 2015 年10月10日(土),11日(日),12日(月・祝日 体育の日)

会 場: 仙台市民会館 (仙台市青葉区桜ヶ岡公園4-1 電話 022-262-4721)

主 催: (一財)日本エスペラント協会, 仙台エスペラント会

後 援(予定): (独法)国際交流基金, (社)日本ユネスコ協会連盟, (社)日本ペンクラブ,  
宮城県, 仙台市, 宮城県教育委員会, 仙台市教育委員会,  
NHK 仙台放送局, 河北新報社, 朝日新聞社, 毎日新聞社, 読売新聞社 ほか

大会テーマ: *Espero trans la katastrofo* 災厄の向こうの希望

日本エスペラント大会が初めて仙台で開かれたのは1924年の第12回大会でした。招致が決まったのは前年の岡山での大会でしたが、それは1923年9月1日、まさに関東大震災の当日のことでした。そして、2011年3月11日に東日本大震災を経験した私たちは第102回日本エスペラント大会を開催しようとしています。

東日本大震災と福島原発事故によってこの地域は大きな打撃を受けました。復旧と復興の歩みののろいところも多く、時間の流れが止まったかのようなところも少なくありません。

災厄は破壊的な力で人間に襲いかかってきて、人間はそれに翻弄されます。しかし、屈服してばかりではなく、精一杯それに対処しようとし、それを乗り越えようとするものです。実際、東日本大震災を乗り越えようとする新しい動きもそちらこちらに湧き上がりつつあります。このようなときに、希望の言葉エスペラントはどのような力を私たちに与えてくれるでしょうか。

この大会に集うエスペランティストが、国際語エスペラントならではの国際交流を深めるとともに、いろいろな経験を語り合う中でエスペラントが持つ未来に向けた希望の力を感じてほしい、そのような願いを込めて仙台で大会を開催します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第102回日本エスペラント大会実行委員長 後藤 斉

### 〔連絡先〕

・日本エスペラント大会事務局

162-0042 東京都新宿区早稲田12-3 一般財団法人日本エスペラント協会内

メール: [jek15s@jei.or.jp](mailto:jek15s@jei.or.jp) お問い合わせは主にメールで

TEL: 03-3203-4581 FAX: 03-3203-4582 ホームページ: <http://www.jei.or.jp/>

・参加申込みは、[郵便振替 00130-4-744162 日本エスペラント大会A]へ。

「振替」到着後、2週間をめどに領収書(はがき)をお送りします。

## 〔主なプログラム (予定) 〕

- 10月10日(土) 受付/12:00～、公開番組・分科会/13:30～、親睦の夕べ/17:50～  
10月11日(日) 開会式・分科会/9:15～、分科会等/10:35～、懇親会/18:30～  
10月12日(月祝) 分科会等/9:00～、閉会式/12:30～、大会後観光

## 〔公開番組〕 大震災とエスペラント

東日本大震災被災者の支援活動に携わっているエスペランティストの講演。

堀泰雄さん(前橋市在住、元世界エスペラント協会理事) 東日本大震災直後からリアルタイムで状況をエスペラントを使って世界に発信し、その量は本数冊分に。岩手県釜石市唐丹地区の小中学生教育支援活動も世界に広げている。

高田彩さん(宮城県塩竈市在住、仙台エスペラント会会員) 主宰するギャラリーが津波の浸水被害を受けるも、地域の被災者のためにアートによる支援活動を展開。やはり地震被害を受けたクライストチャーチ(ニュージーランド)でのアートによる交流にも参加。

## 〔大会テーマ関連リレー小講演〕

三瓶圭子さん(仙台)、矢崎陽子さん(福島)、江川治邦さん(和歌山)、土居智江子さん(横浜)、S. アニケーエフさん(函館)、堀泰雄さん(前橋) など。自薦も歓迎します。ほか、震災関連の歌を歌う番組も企画中。

## 〔公開講演・コンサート〕

- ・東京大学藤井省三教授「魯迅とエロシエンコ」(仮題) 12日10:00～ 魯迅研究の第一人者による、エスペラントも絡んだ二人のつながりについての講演。
- ・「エスペラントとユネスコ」 11日10:35～ モンテビデオ(ウルグアイ)のユネスコ総会でエスペラント支持が決議されてから60年。エスペラントとユネスコに関連した活動をしている江川治邦さん(和歌山)の講演。民間ユネスコ運動発祥の地である仙台ユネスコ協会にも依頼中。
- ・山形大学藤野祐一教授コンサート 11日午後 声楽家によるエスペラント歌曲。

## 〔大会記念品〕

後藤斉『人物日本エスペラント運動史』(仮題)などを準備中。

## 〔大会会場〕

仙台市民会館 〒980-0823 宮城県仙台市青葉区桜ヶ岡公園4-1

Tel: 022-262-4721

仙台市営バス：①仙台駅前29番乗り場(仙台駅西口から250m西)から、「定禅寺通 経由交通局・大学病院前」行き乗車、「仙台市民会館前」(約15分、100円)下車すぐ。②仙台駅前25番乗り場(仙台駅西口から150m西)から、「子平町方面」行き乗車、「春日町」(約10分、100円)下車、西に徒歩約5分。

仙台市営地下鉄南北線：勾当台公園駅「公園2」出口から、徒歩約10分。

タクシー：JR仙台駅から約10分。

高速道路：東北自動車道「仙台宮城IC」から約10分。

仙台空港からJR仙台駅まで：仙台空港アクセス鉄道で25分(快速17分)。

## ◆大会参加費など

(単位は円)

参加費	期限→	3月末	7月末	8月～	備考(○印 記念品・報告書あり)
① 一般		5,000	6,000	7,000	○
② 障害者			3,000		○
③ 家族		2,000	3,000	4,000	記念品希望者は①でお申込みください
④ 青年・留学生		2,000	3,000		○ (青年は2015年内に30歳になる人まで。生年月日を
⑤ 青年・留学生			2,000		記入!) (留学生は、日本に留学中の外国籍の人)
⑥ 中学・高校生		1,000	1,500		単独参加者の場合は○あり
⑦ 小学生以下			無料		
⑧ 外国から			2,000		○ 高校生以下は⑥、⑦でお申込みください
⑨ 不在参加			3,000		○ 実参加へ切替の際は申込日の額との差額を追加。
⑩ 記念写真			1,000		最終日にお渡します。各自お持ち帰りください。
⑪ 昼食Ⅰ 11日(日)			950		
⑫ 昼食Ⅱ 12日(月)			950		
⑬ 懇親会 11日(日)			6,500		
⑭ 大会後観光			17,000(予定)		サンファン館・日和山・津波被災地などを巡る
⑮ JEI学力検定試験		1級 5,000 / 2級 3,000 / 3級 2,000 / 4級 1,000 / 新テスト 500			

◆取消し条件 ①～⑨の参加費は原則としてお返しできません。

⑩～⑬の費用は、9月末までに限り、返金手数料500円を控除し返金します。

## 〔宿泊〕

ホテルの斡旋はいたしません。ホテル一覧をR0誌5月号やウェブで発表予定です。仙台市内には多数の宿泊施設がありますが、大規模な行事が重なることも予想されます。早めの予約をお勧めします。5月から予約できる場所もあります。

## 〔市内観光〕

仙台市内中心部の主要観光スポットを巡るバス「ループル仙台」(仙台市交通局)のご利用をお勧めします。専用の一日乗車券(大人620円)で、どこからでも乗り降り自由、乗り放題です。一日乗車券の提示で割引になる施設もあります。停留所は会場近くにもあります。

「ループル仙台」ほか、仙台市営地下鉄、市営バス、指定エリア内のJR普通列車などが2日間乗り放題の「仙台まるごとパス」(2,670円)もあります。

## 〔大会後観光〕

閉会式後から1泊2日(13日午後3時ごろ仙台駅帰着解散予定)で、石巻市を中心に、支倉常長が太平洋を渡った船が復元されたサンファン館や旧北上川河口付近を一望できる日和山、津波被災地などを巡る旅行を企画しています(17,000円予定)。現地の状況が流動的なため、詳細は第3報でお知らせします。

# La 102-a Japana Esperanto-Kongreso en Sendai

**Dato:** la 10-a, 11-a, 12-a de oktobro 2015

**Kongresejo:** La civitana domo de la urbo Sendai

15 minutojn aŭtobuse de la stacidomo Sendai

**Kongresa Temo:** *"Espero trans la katastrofo"*

La katastrofa tertremo kaj cunamo en la 11-a de marto 2011 lasis nemezureblan sekvon.

El tio tamen nun videblas burĝonoj de novaj movoj.

Kian forton al ni donas Esperanto, la lingvo de espero?

Ĉefaj programeroj (provizoraj)

## La 10-an de oktobro (sabate)

Akceptejoj: ekde 12:00

Posttagmeze: publika prelego kaj fakkunsidoj (ekde 13:30)

Vespere: Amika vespero (prezentantoj atendataj) (ekde 17:50)

## La 11-a de oktobro (dimanĉe)

Antaŭtagmeze: Inaŭguro (ekde 9:15), fakkunsidoj k.s. (ekde 10:35)

Posttagmeze: fakkunsidoj k.s.

Vespere: Komuna bankedo (ekde 18:30)

## La 12-an de oktobro (lunde)

Antaŭtagmeze: Fakkunsidoj (ekde 9:00)

Posttagmeze: Solena fermo (ekde 12:30)

Post la kongreso: Ekskurso al Muzeo Sant Juan Bautista kaj cunamita urbo.

**Memoraĵo:** planataj / Japana Esperanto-movado laŭpersona (japanlingve)

**Kotizoj:** Partopreno el ekster Japanio 2 000 enoj

Loĝanto plenaĝula en Japanio

5 000 enoj (ĝis la 31a de marto 2015)

6 000 enoj (ĝis la 31a de julio 2015)

7 000 enoj (de la 1a de aŭgusto)

Pri ceteraj kotizoj (handikapulo, junulo, lernanto, alilanda studanto, morala partopreno, ktp) demandu al Japana Esperanto-Instituto (vidu informon malsupran piednotan).

**Loĝado:** Listo de proksimaj hoteloj prezentota.

**Postkongreso** (la 12-an kaj 13-an de oktobro, lunde kaj marde) : 17 000 enoj (provizora)

**Foto:** 1 000 enoj

**Lunĉo:** la 11-an kaj 12-an de oktobro, 950 enoj potage

-----  
Pri detaloj havu kontakton kun Japana Esperanto-Instituto

/ JP-162-0042 Tōkyō-to Sinzyuku-ku Waseda-mati 12-3

retadreso: jek15s@jei.or.jp, telefono: +81-3-3203-4581, fakso: +81-3-3203-4582

retejo: <http://www.jei.or.jp/hp/esp.htm>